

233号の 主な記事

- 第1回定例会概要、議員提出議案の概要..... 1ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5ページ
- 予算特別委員会の概要..... 6～8ページ

平成31年第1回定例会

平成31年度各会計予算案を可決

新庁舎の建設、学校施設や大型公共施設の建替え、防災性を高めるまちづくり事業などの諸課題に対応した総額3,673億円

平成31年第1回定例会は2月19日から3月26日までの36日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、平成31年度各会計予算案を含む59件の議案、同意2件、報告2件が提出されました。各会計予算案については、予算特別委員会を設置し、今後の区政方針や諸施策などについて詳細に審査を行いました。

これらの議案は、いずれも原案のとおり可決されました。

議員からは「妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書」が提出され、全会一致で可決されました。意見書は、各関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、6月にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。



葛西臨海公園の桜

議員から提出された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書

〔内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて〕

妊婦の診療には特別な注意が必要とされるため、診療に積極的でない医療機関が存在していたことから、平成30年度診療報酬改定において妊婦加算が新設された。しかし、様々な問題があることから、厚生労働省は妊婦加算の凍結を告示し、妊婦が安心できる医療提供体制の充実や健康管理の推進を含めた総合的な支援を議論することとした。そこで、安心して医療を受けられる体制構築のため、医療現場において、妊婦が安心して外来診療を受けられるよう、特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、医師の教育や研修の体制を整備すること等を国に求める。

第1回定例会日程

- 2月19日……議案上程、委員会付託
- 21日……代表質問
- 22日……一般質問
- 26・27日
- 3月1・4・5・7・8・12日 } ……予算審査
- 13日……議案審査
- 14日……請願・陳情等の審査
- 26日……議案上程、委員会報告及び表決

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、区民…えどがわ区民の会 共産…日本共産党、江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク (議長を除く 計43人)

Table with columns: 件名, 概要, 自民, 公明, 区民, 共産, 江戸, 生ネ, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Includes sections for 区長提出議案, 条例(一部改正), 議員提出議案, and 報告.

※自由民主党の一部棄権

Table with columns: 件名, 自民, 公明, 区民, 共産, 江戸, 生ネ, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Section: 今回の定例会で結果が出された請願・陳情.

不採択に賛成…○、反対…×

区政への質問

2月21日に代表質問、22日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

江戸川の明日を切り拓く 世界のEDOGAWAへ!



自由民主党
福本 みつひろ



問 類まれな行政手腕により地域の力を結集し、江戸川区を発展させた多田区政5期20年を総括し、これまでの区政に対する想いは。

答 共育協働の理念の下、区民の皆様、議会の皆様とともに最善を尽くしてきた成果により理想の地域社会に大いに前進した。皆様から敬意を表し、感謝している。

問 二度の財政危機を乗り越え、将来世代に負担を先送りしない財政運営をされてきた多田区長の5期20年の締めくくりとなる平成31年度予算に込めた想いは。

答 区政の根幹である健全財政を念頭に置き、課題を先送りせず、なすべきことをしっかりとやっていく。そういう予算編成を行った。

問 新庁舎建設について、隣接民有地との協議を含む今後の展望は。本庁舎跡地の地域の更なる活性化や賑わいの創出の考えは。

答 新しい江戸川区の魅力・象徴とも言える新庁舎を立派に仕上げ、なるべく早く着実に進めていく。跡地については、従前と変わらない賑わいと活力を求めていくのは当然である。次なる活用について、皆さんに意見や提言をいただきたい。

問 児童文学館の建設にあたり、展望の丘を候補地にしたい。また、区のイメージアップや人を呼び込む視点からの検討は。

答 展望の丘は、児童文学館という性格から環境に合い、価値あるところであると、角野栄子さんも大いに賛同してくださったことから候補地とした。当人である角野さんのお話を十分に聞きながら、進めていきたい。

問 専門職大学について、どのように区の新たな魅力創造や賑わい創出につなげるのか、また、設置構想が実現した後の将来ストーリーをどのように描いているのか。



専門職大学について

答 大学当事者と十分意見交換し、周辺の状況と融合できるよう考えている。優れた教育機関、有数の大学として存続できるよう共に邁進していきたい。

問 区長は今後、どのような区政を期待し、区民生活をいかにして支えていくことを期待するのか。多田区長の視点で、未来の区政への熱いメッセージを。

答 江戸川区が培ってきた大いなる地域力を活かし、より完成度の高い地域社会を目指して、共に努力する。そういう区であってほしいと

願っている。

新庁舎建設と専門職大学 誘致等について



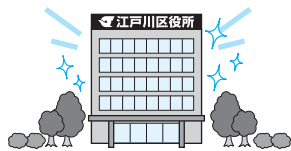
公明党
竹内 すずむ



問 多田区長は就任以来、強い決断力で健全財政を築き上げ、素晴らしい施策を次々に打ち出した。今回は最後の予算編成になるが、どのような思いで予算編成にあたったのか。

答 十分慎重に検討したうえで、早期に様々な課題を完結し、区民にその成果を享受していただくことを念頭にいたした予算とした。

問 新庁舎建設について、今後の検討の進め方と新庁舎建設を契機としての船堀のまちづくりについての考えは。



新庁舎建設について

答 基本構想・基本計画の策定委員会の立ち上げに向け調整中であり、おおよそ1年を目途に諸課題を整理する。船堀のまちづくりは、行政の中核機能を備え、防災機能の強化、区民交流に配慮したまちづくりを考えている。

問 専門職大学の誘致に至る経緯や概要、地元小松川地域との関わりについて。

答 昨年6月に滋慶学園から話があり、旧小松川第二小学校跡地を活用し構想を実現していくこととなった。地域の活性化や賑わいに良い影響を期待している。

問 児童文学館の構想について、角野栄子さんは、どのようなイメージを語り、それを区長はどのように受け止めたのか。

答 角野さんとは「子供たちにとって夢の膨らむような、そこで素晴らしい想像力が育まれるような場所にしていきたい。」と話した。また、展望の丘の一角を活用していきたい。

問 江戸川区水害ハザードマップについて。

①啓蒙活動についての具体的な取り組みは。

②避難困難者対策の具体的な取り組みは。

③具体的な広域避難所対策についての方針は。

答 ①5月中旬に全戸配布。広報等で情報提供し、各事務所や町会での説明会も開催したい。

②近くの小中学校の水没しない階まで避難し、できるだけ早く救助することを考えている。

③国と都で行っている検討会の結論を見極め、他区市との連携を具体化していきたい。

問 地域防災の要である自主防災組織について、防災訓練などの日ごろの活動や防災意識の向上等が重要と考えるが、更なる充実・強化に向けての考えは。

答 避難所運営協議会を立ち上げており、地域力を活かした防災活動がとれる努力をする。

問 UR(独立行政法人都市再生機構)団地のラウンジや集会所を福祉拠点として整備することは有益だが、URと連携を強化し、更なる

地域福祉拠点を創出することについて。

答 URから区内8団地について提案をいただいております。活用する方向で話を続けていく。

問 学校における働き方改革の推進について。

①働き方改革プランの実現に向けて、新年度予算における具体的な取り組みは。

②働き方改革プランの基本方針を実現するためにどのように取り組むか。

答 スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置・拡充を4月から、出退勤管理システムの稼働は、7月から行いたい。

②長時間勤務の解消に向けて、随時、効果の検証を行い、見直しを進めながら取り組む。

区の魅力発信と地域への愛着や 誇りを高めるまちづくり



えどがわ区民の会
えぞえ 亮一



問 多田区長は、財政再建を成し遂げ、健全財政を堅持し、区民と共に住みやすい地域づくりを行ってきた。平成31年度予算案編成に関して、次世代へと江戸川区政を引き継いでいくにあたり、特に注力した点は。

答 健全財政の堅持と質・量ともに区民の期待に応えられる予算とするべく努力した。

問 約6年ぶりの「公共施設の在り方懇話会」、また「第一回江戸川区新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会」の開催が予定されるなど、新庁舎建設や大型公共施設の整備・再編に大きく動き出したが、事業の計画段階からの区民の参画と協働について区長の考えは。

答 多くの区民・関係者の方に意見を十分に聞かせていただく場を設け、それをもとにしっかりと計画を構築していきたい。

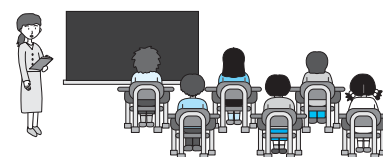
問 江戸川区の魅力を国内外に発信する「シティプロモーション」と区民ひとりひとりが、わがまちに愛着や誇りを抱く「シビックプライド」の今後の連携について。

答 区民の誇りと自信をさらに強めていくことを「シティプロモーション」をもって実現していかなければならない。これから力を注いでいかなければならないと考えており、様々な意見を寄せていただきたい。

問 他の自治体に先駆けて児童相談所の開設準備が進められているが、児童相談所と教育委員会の連携の重要性も大きく指摘され、教育委員会の子どもたちの命を守る責任は高まっている。教育長の子どもの命を守る健全育成と教育力向上に向けた決意を。

答 子どもは社会の宝である。家庭、学校、地域が一層連携を深めることにより、社会全体の教育力を向上させ、子どもたちの豊かな人間性・社会性の育成に関わっていきたい。

問 学校における働き方改革について、職層別研修でタイムマネジメント等に関する内容を取り入れ、管理職の意識改革とタイムマネジメント能力向上に向けた取り組みを早急を実施することが望まれるが、教育長の考えは。



教員の働き方改革について

管理職をはじめとした学校全体での勤務時間やワーク・ライフ・バランスの意識向上が重要である。すでに各職層に応じた研修の中でタイムマネジメント等の内容を盛り込み、各学校の風土醸成の取り組みと合わせて進めているが、今後もさらに推進していく。

消費増税中止、中小企業条例、旧二小松で住民説明を



日本共産党
セバタ 勇



消費増税と区民への転嫁について。

①厚生労働省による毎月勤労統計など基本統計の不正についての考えは。また、これらの統計調査をもとに消費増税の判断をしたことについての考えは。

②消費税10%への増税による区民生活への影響についての考えは。複雑な複数税率、クレジット還元等の景気対策について。

③延期された場合の使用料転嫁への対応は。

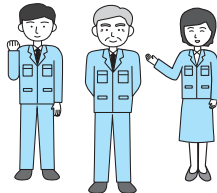
たいへん由々しきことだと考えており、しかるべき対処を望む。

②良くない影響が出ないために政府は最善を尽くすべきだと考えている。

③延期された場合の措置は、考えていない。

中小企業・小規模企業振興のために区の基本姿勢を示し、総合的な振興対策を明らかにするため、江戸川区中小企業・小規模企業振興条例の制定を求めている。

中小企業・小規模企業振興条例について



中小企業振興条例の制定は考えていない。

旧小松川第二小学校跡地の「専門職大学」について。

①旧小松川第二小学校跡地に誘致することになった経緯は。

②周辺環境が激変することに対する対策はどのように考えているか。

③区として区民に対する説明会を開くなど丁寧な説明を行うべきと考えるが。

①滋慶学園から要請があり、それに応じたということである。

②③区として地域住民に対して、様々な問題について丁寧に説明することは、当然である。

迷惑喫煙と歩きたばこ ポイ捨てを撲滅、罰則規定を!



江戸川クラブ
笹本 ひさし



池江選手が生まれ育った江戸川区として、白血病闘病への応援メッセージを届けては。

再起を祈るばかりだが、何かの形で表明することは考えていない。

今後の江戸川区の最重要の課題は。

先般の招集挨拶でお話した通りである。

児童相談所に法曹職員の配置を。

弁護士を配置するよう予定している。

多目的アリーナ機能を併せ持つ大型公共施設を設けては。

区内に土地がなく不可能と考える。

JR小岩駅再開発事業の進捗と今後の展開。また京成小岩駅周辺のまちづくりは。

JR小岩駅周辺については、10年後の完成を目指す。京成小岩周辺については年度内に説明会、来年度に具体的な検討に取り組む。

角野栄子文学館の設立趣旨と北原白秋の紫煙草舎の江戸川区への移築は。

功績と世界観を後世に継承し、文学の素晴らしさを発信する。また紫煙草舎の移築は、市川市民と江戸川区民の合意が必要である。

上一色小学校跡地を区が直面する課題解決に繋がる施設として利用を。

地域の方々の意向も伺いながら検討する。

上小岩遺跡の展示等を待望する地域の声に対する考えは。また遺跡を活用し、地域の学校で研究活動することについて。

地元で展示できるよう検討している。教育的意義は大変高く、活用を研究していく。

教育について。

①校舎の建替、学校の再編、統廃合について。

②野田市虐待事件について、世論が納得しないことと子どもを救えなかったことについて。

③オリンピック・パラリンピック教育とは。



教育について

①学校適正配置の観点から踏まえ、改築は年3校ペースで進める。

②最も大切なのは、関わる職員の熱意である。

③異文化への理解、多様性の尊重、地域社会に貢献できる人材の育成である。

歩行喫煙、たばこのポイ捨て罰金は。

減少傾向であり、罰金化の考えはない。

なごみの家の理念や趣旨を利用者、地域、従事者がしっかりと認識することが必要では。

地域共生社会を作ることが理念であり、区全体が取り組むものとする。

医療的ケア児とその親の支援について。また、発達障害相談センター開設に向けた意義と現状の対応について。

必要な機関と連携を図り支援していく。また発達障害相談センターでは、お子さんの特性による訓練機関の紹介や情報提供を行うとともに、区内事業者への支援を進める。

一般質問

優しさがあるまちづくり!



自由民主党
野崎 まこと



インフルエンザの今期の江戸川区での集団発生件数・施設は。予防接種を受けるなど感染防止注意が重要だが、予防の取り組みは。

集団感染の発生件数は326件、主な施設は、保育園や小学校が中心である。臨時休校は、小学校179件、中学校50件。子どもの予防接種は、重症化予防を目的としており、公費助成は今後研究していく。ポスター、ホームページ等により周知をしており、集団生活の場

への予防、患者発生時の対策の周知等を通じ、蔓延予防に取り組む。

野田市で起きた児童虐待事件の児童相談所の対応と問題を受けて、区の児童相談所開設を目指す区長の思いは。

やりきれない思いであり、江戸川区において絶対に起きないように最善を尽くす決意をしている。

安全で災害に強いまちづくりの拡充予算の一部に挙げられている新左近川水門耐震改修の目的、必要性、課題、今後のスケジュールは。また、新川東水門・樋門耐震補強工事の整備課題と今後のスケジュールは。

新左近川水門は、十分な耐震性がないこと、漁船の通船を考慮し、必要最小限の小規模な水門に改築する。2019年度から2020年度に小規模な水門を設置。2020年度から2021年度に既存の水門を撤去する計画である。新川東水門は、都の工事の入札の不調と地元関係者との調整に時間を要していたが、今年度内には本体工事に着手できる状況になったため、早期完了を目指したい。

公立中学校において、女子生徒の制服に対するストレス解消のため、スカートとスラックスを選べるようにしては。

文科省の通知では、制服の選定は、保護者などの意見を聞きながら校長が決定することとされている。保護者、子どもにも聞きながら協議を進めていくことが必要と考える。

障がいのある人とその家族への区民理解の一層の促進を図り、障がいのある人も共に生きる「共生社会」の実現を推進するため、「障害」の「害」の字の「ひらがな表記」を。

色々な意見があるため、国の議論の推移を見つつ、障害当事者の皆さんの意見も聞きながら、表記のあり方を考えていきたい。

次世代の夢を育む 誰もが安全安心の地域社会を!



公明党
田中 じゅん子



受動喫煙防止に向けた取り組みについて。

①区が所管する施設について、具体的な変更点と区民への周知についての考えは。

②事業所や飲食店への周知、喫煙専用室設置時の助成制度の周知や禁煙する人への支援についてどのように進めるのか。

①今年の7月までに本庁舎等の行政機関の既存の喫煙室を廃止し、来年の4月までに文化施設等を原則屋内禁煙とする。施設内掲示や広報、ホームページ等で周知していく。

②説明会やコールセンター、アドバイザーの派遣等を考えている。また禁煙治療の費用の一部を補助する制度を開始し、支援していく。

民間緊急通報システム「マモルくん」の減額制度の条件緩和についての考えは。

受益者負担の考えも持ちながら、更に利用しやすい制度を検討していきたい。

商店街活性化への支援について、今後のキャッシュレス化に対応し、活性化につながるよう支援すべきと考えるが、説明会や勉強会など区が強く後押しするべきでは。

区商連と区で連携し、キャッシュレス対応の基本的な知識や支援制度の勉強会等を新年度当初に開催するなど、きめ細やかな対応を行っていきたい。

精神障害者の地域活動支援センターの今後のあり方について。

①精神障害者に対する理解について、周知や普及啓発への取り組みは。

②新たに小松川地域にも設置され、区内4か所となるが、今後の役割や機能について。

③ ①新たに設置する精神保健福祉協議会で障害者理解に向けた活動を推進していく。

②生活支援や相談、地域交流等を行うが、施設間の横の繋がりを図りながら、新たな地域支援の拠点となるよう機能強化していく。

小中学校の不登校対策について。

①本区の新たな不登校対策を、来年度に向けてどのように取り組むのか。

②不登校やいじめなどの様々な相談にどのように取り組むのか。

③ ①学校サポート教室等の多様な教育機会、スクールソーシャルワーカー等の支援を行ってきた。来年度は、しのぎ学校サポート教室を共有プラザ南篠崎に移転し、新たな学習方法の実施等を行う。

②相談先を記したカードを配布、定期的にアンケート調査を行い、面談、観察等によって子どもが抱える悩みを把握している。あらゆる手段について、引き続き研究していく。

認知症サポーターの拡充への取り組みについて。

①「えどがわオレンジ協力隊」を地域の中でどのように盛り上げ、推進していくのか。

②中学生を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を全校で推進すべきと考えるが。

③ ①ホームページへの掲載など、いろいろな場面で取り上げている。

②現在、どのように授業に効果的に取り入れるかということで協議を進めている。

外国籍の子どもの就学について。

①就学先不明の外国籍の子どもへの就学促進についての考えは。

②外国籍の児童生徒、保護者への支援をどのようにすすめるのか。

③ ①至急、就学先の調査を検討する。

②日本語学級での指導の充実や日本語指導員の確保に努めていく。

篠崎地域の喫緊の課題について。

①都営東篠崎団地の建て替えにより創出された都有地について。

②都市計画道路補助286号線の都県橋を含む篠崎地区のまちづくりについて。

③ ①できるだけ早く具体化できるよう、地域や議会とも十分相談しながら素晴らしい構想を作り上げていきたい。

②橋梁部や対岸のまちづくりの動向を見極めつつ、補助286号線の橋梁と周辺のまちづくりの推進に向けて検討を進めたい。

春江橋の早期架替工事を！おやじの会・消防団の促進



えどがわ区民の会 神尾 てるあき



春江橋の架替工事について。

①橋脚に破損が発見された春江橋の現状と今後の展望は。

②架替に併せて車道の拡幅を。

③ ①安全を最優先するため、車道橋の人道橋化という措置を取っている。平成31年度に

架替に向けて鋭意取り組んでいく。

②現在の道路構造の基準に沿うよう拡幅することを前提に架替の検討を進める。

地域コミュニティの形成について。

①おやじの会や父親の会等、男性保護者のPTAと地域のつながりは。

②地域と重要なつながりを持つ消防団の加入促進を。

③ ①PTAの父親で組織するおやじの会は地域まつりに協力するなど地域コミュニティとの繋がりは、すでにできていると考えており、この取り組みを更に進めていく。

②引き続き加入促進を支援していく。

バス路線の空白地域について。

①区内のバス路線の現状と課題について、どのように把握・認識しているか。

②バス路線の空白地域解消に向けた展望は。

③ ①バス停からの距離が概ね5分圏内、300mの距離の内か外かで把握している。

②都市計画道路の整備に合わせ、既存のバスルートの変更や延伸をバス事業者に要請する。道路計画のないところは、コミュニティ交通の導入も視野に入れ、検討する。

庁舎建替計画策定に住民参加をくつろぎの家存続を



日本共産党 須田 哲二



区役所本庁舎移転問題について。

①土地購入はどのように進展しているのか。

②情報公開に関して創意工夫と量的拡大を。

③新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会の公募区民拡充などの体制改善を求める。

④ ①年内の用地取得を目指し協議を進める。

②委員会を第1回目から公開とし、それぞれの段階で適宜、進捗状況を発信していく。

③委員会を立ち上げるにあたり、他自治体の計画委員会の状況等も調べ、この構成で進めたいと考えて提案している。

江戸川清掃工場の建替について。

①「くつろぎの家」の廃止方針の理由は。

②清掃工場の建物内に「くつろぎの家」と同等施設を入れる合築という方式はできないか。

③余熱利用のひとつとして、温水プールの設置を行うべきと考えるが。

④ 7年間熱供給が止まること、施設も古くなり、価値観の多様化や意識の変化もあり、利用者も漸減傾向にあるため、廃止する。

②「くつろぎの家」と同等施設は、環境学習施設ではなく、法律上もこの場所はごみ処理場の位置付け等のため、合築できない。

③東篠崎1丁目都有地等の動向を見据えつつ、活用方法を皆さんと検討していきたい。

今井児童交通公園の跡地利用について、平時にスポーツ施設などを設置し賑わいをつくる検討を。

④ 水害時には、安全な高台の避難場所になるように、平常時には素晴らしい水辺環境を活かした緑豊かな公園としていきたい。

スーパー堤防とまちづくり事業について、上篠崎地区の地盤を区の責任で強固な地盤にする必要があると考えるが。

④ 国の責任において推進すべき事業である。区は国の取り組みをしっかりと確認し、住民の皆さんに説明していきたい。

「合理的配慮」の理解と居住支援協議会について



生活者ネットワーク 伊藤 ひとみ



障害者差別解消法における「合理的配慮」について。

①区民に対して「合理的配慮」への理解を深め、実効性のあるものにするための考えは。

②東京都の条例制定を機に、区でも事業者等へのサポートが必要になると考えるが。

④ ①②行政だけでなく民間でも合理的配慮を進めることは大切であり、理解を深める啓発や相談にも取り組んでいく。

居住支援協議会について。

①構成メンバーと課題は。解決方法は。

②協議会の拡充と今後の進め方は。

④ ①不動産関係団体、社会福祉協議会、区で構成され情報収集や意見交換を行っている。

②居住支援法人を加え、具体的な方策の検討を行い、民間賃貸住宅への入居促進を図る。

新設の松島コミ館に温水プール設置の再検討を！



自由民主党 渡部 正明



江戸川区の多岐に渡る業務執行の把握と監査業務について、23区・周辺自治体の外部監査導入状況は。将来的にどのような監査制度を目指すのか。行政評価の調査対象事業の選択の基準と平成26年度の調査以降、公表がない理由は。予算執行残の多さについての監査委員の指摘をどう捉えるか。

④ 外部監査は、都道府県、政令指定都市、中核市で実施義務があり、23区では直近5年間で5区導入している。監査制度については、31年度末までに監査基準を定め、それに則って適正に監査を実施する。行政評価については、新規・拡充事業を中心に選定していた。平成27年以降は財務レポートを行政評価として活用している。監査委員の指摘については、真摯に受け止め、予算編成にあたっていきたい。

人事行政評価から見た人事考査について、少子高齢化の中、安定した人材と職員の確保についてどのように考えるのか。一般行政職に出していない数の1,443人の職員の所属・配置職種は。退職者に対して一定割合で新規採用者数の増員が必要と考えるが。

④ 臨時職員の力を借りながら、区としてバランスを取った配置に努めている。国の統計調査の分類上1,443人は、清掃事務所等の技能系職員や保育士等の福祉職、税務職などである。採用については、財政的な負担も考慮しつつ、適正な人員配置に努める。

松島四丁目区民施設について、施設建設への地元要望は、従前のコミ館形式ではなく、世代を超えて個人が集える温水プール機能の設置を要望している。計画の再考を求める。

④ 地元から施設の完成を心待ちにしているという声もあり、早期の施設完成を目指し、最善を尽くしたい。

予算特別委員会

予算特別委員会は、2月26日から3月12日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の予算案について、審査を行い、広範にわたり詳細な質疑が行われました。

委員会での審査を踏まえ、3月26日の本会議で採決の結果、平成31年度一般会計予算案と国民健康保険事業、介護保険事業及び後期高齢者医療の各特別会計予算案は、賛成38・反対5でそれぞれ原案のとおり可決しました。

なお、委員会に一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算についての修正案が提出されましたが、否決しました。

予算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| ◎ 須賀 精二 | 野崎まこと | 須田 哲二 | セバタ 勇 |
| ○ うざわ悦子 | 牧野けんじ | えぞえ亮一 | 須賀 清次 |
| 岩田まさかず | ます 秀行 | 中里 省三 | 竹内すすむ |
| 中津川まさあき | 笹本ひさし | 堀江そういち | 田中じゅん子 |
| 小野塚あやか | 金井しげる | 田中 寿一 | 川瀬やすのり |
| 神尾てるあき | 中山たかひと | 福本みつひろ | 島村 和成 |
| 本西みつえ | 大西 洋平 | 高木ひでたか | |
| 伊藤ひとみ | 大橋みえ子 | 小俣のり子 | |

委員定数 20 人 (委員の途中交代あり)



予算特別委員会の様子

平成31年度予算に対する各会派の意見

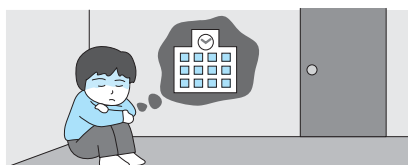
自由民主党 (賛成)

多田区長の先見性と努力等により区独自の社会保障を充実しながら、財政の健全化も同時に実現しており、しっかりと確保した基金を将来に活かすことも区民の安心・安全・安定につながっている。類まれな行政手腕を発揮し、江戸川区を発展させてきた多田区長が編成する最後の予算案ということをしっかり受け止め、真摯に審査した結果、平成31年度一般会計、各特別会計予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- 歳出削減と同様に歳入確保は大変重要である。収入未済、不能欠損の減少に向けて、滞納対策強化の更なる推進を。
- 児童文学館・専門職大学に関して、地域活性化の視点から緻密な計画案を策定し、国内外に江戸川区の魅力の発信を。
- 新庁舎建設にあたり、船堀四丁目都営地に隣接する方々のまちづくりに向けた協議を丁寧かつ着実に進めること。また船堀地域の課題解消と本区の魅力創造に繋がる取り組みを俯瞰的な見地から進めること。
- 広報えどがわは区民の貴重な情報源であるため、効果的な発信と設置個所の拡大を。
- 区民の健康づくりについて、民間のスポーツクラブが医療・福祉分野との親和性を高めてきている中、新たな公共の担い手として、一層の協働を深めること。
- CO₂排出削減は、宅配ボックスの設置推進が重要であるが、区民サービス向上の視点から各事務所に設置する等の検討を。
- 医師会・歯科医師会と更なる連携を図り、区民健診・各種がん検診の充実と受診率向上に向けて積極的な取り組みを。
- 超高齢化社会を鑑み、特別養護老人ホームをはじめ、時代に即した区民ニーズにあった介護施設の充実を。

- 障害者の居場所づくりの視点から障害者グループホーム等のニーズにあった施設の拡充と障害の特性にあった就労自立支援の強化を。
- 待機児童解消に向けた更なる拡充と幼児教育・保育の無償化による制度変更に伴い、区内保育園・幼稚園関係者としっかり連携をとり、区民に更なる子育て支援の充実を。
- 東京メトロ葛西駅・西葛西駅のホームドア設置の早期実現と帰宅時の通勤快速停車、また、葛西駅東口に改札口の設置を。
- メトロセブンについて、LRTやBRTの検討と葛西臨海公園駅から葛西駅までを優先整備地域とするなど、新しい発想で実現の努力を。
- 葛西臨海公園は、人口ピーチ、オリンピック施設の建設、更にはラムサール条約登録など様々な資源がある。東京都との運営連絡協議会の設置やJR等他機関との連携により、世界の葛西臨海公園になるよう努力を。
- コミュニティバス導入検討にあたり、不便な地域の解消に向けた積極的な取り組みと、都市マスタープラン素案で区内外の交流を促す必要の高い拠点とされる場所へのより容易なアクセスの確保を。
- 街路灯のLED化について、エスコ事業等、民間活力導入も検討し、速やかな進捗を。
- 上篠崎一丁目北部土地区画整理事業は多くの区民が望んでいる治水事業であるため、しっかりと安全対策と丁寧な事業推進を。
- 学校給食の食べ残しが学校により差があるため、フードロスの観点から食べ物を大切にすることについてしっかりと指導を。
- 不登校対策について、多様な学び場・居場所の実情を踏まえた支援の充実や学校サポート教室の一層の充実等により、生きる力を育む不登校対策の更なる推進を。



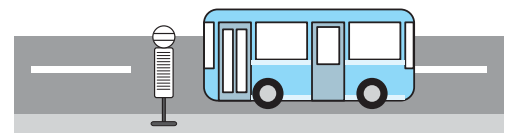
不登校対策の更なる推進を

公明党 (賛成)

新庁舎建設や専門職大学の誘致、児童相談所開設に向けた取り組みや子育て支援策の推進、高齢社会への対策や災害に強いまちづくり施策など区民サービスの向上や地域発展に向けた積極的な予算編成を高く評価し、区議会公明党として、平成31年度江戸川区一般会計予算案と各特別会計予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- 新庁舎建設に向けて、魅力ある区の象徴となるように、船堀地域のまちづくりと合わせて鋭意検討を。
- 専門職大学設置構想について、小松川地域の住民との良好な関係及び地域の賑わいを創出できるよう構想実現のための努力を。
- 児童文学館の建設では、子どもたちが何度も来たくなるよう、交通等の環境整備の推進とSNS等を活用し多言語に対応した発信を。
- 水害ハザードマップの改定による犠牲者ゼロを実現するため、区民の防災意識の向上と学校での防災教育の更なる推進を。
- 同性パートナー関係にある区民が不利益を被ることがないように全庁をあげて取り組みを。
- JR小岩駅周辺のまちづくりは、各地区が一体感をもった、小岩の新たな魅力創出を目指すとともに、京成小岩駅周辺のまちづくりでは、地域の熟度を高めながら、立体交差事業と合わせ、早期の着工と完成を。
- コミュニティバスの導入については、東部地域をはじめとした交通不便地域に、小回りの利くバス等の導入で区民施設の循環を。



コミュニティバスによる区内施設の循環を

- 塩沢江戸川荘のバリアフリールームの改善と穂高荘の分煙対策やレストランで車いすが使用できるようテーブルや床の改善を。
- 区内共通商品券まつりの推進とキャッシュレス化に向けた取り組みで商店街の支援を。

- 1か所で複数の特別養護老人ホームの申し込みができるよう調整を。
- SOSシートと見守りキーホルダーを熟年相談室でも配布するとともにホームページへの掲載、キーホルダーの留め金部分の改善を。
- 民間緊急通報システム「マモルくん」の減額要件の緩和と、より利用しやすい制度に。
- リレー手話通訳派遣の更なる推進を。
- 幼児教育無償化について、区民にわかりやすい周知と支援体制の整備を。
- がん検診の受診率向上の取り組みとピロリ菌検査の導入を。
- 妊娠から出産、子育てに対し、切れ目のない支援の充実を。
- 風しん予防接種において、これまでの取り組みの継続と国の動向を踏まえた拡充を。
- 自殺防止対策は、総合的な観点から取り組み、若年層に SNS を利用した対策の検討を。
- 上篠崎一丁目北部土地区画整理事業については、住民に十分寄り添い、丁寧かつ着実な事業の推進を。
- 学校体育館へのエアコン設置について万全な体制で、最善を尽くした取り組みを。
- 新たな不登校対策として、子どもの居場所における学習支援を出席扱いとする学校の判断に差がないよう要望するとともに、フリースクール等の導入に前向きな検討を。
- 口腔ケア健診の更なる普及・促進を。
- 認知症の方にやさしいまちの実現に向け、認知症サポーターの更なる拡大のため「えどがわオレンジ協力隊」の推進強化を。

えどがわ区民の会(賛成)

新年度予算案では、新規・拡充ともに未来を拓く施策が示され、えどがわ区民の会として、平成31年度一般会計予算案、各特別会計予算案に賛意を表明する。

[主な要望]

- シティプロモーションとシビックプライドの連携について、区全体でどのような事業に関わっているかを整理し、効率的な取り組みに向けた都市戦略の策定を。
- 全戸配布される江戸川区水害ハザードマップの地域防災訓練等での有効活用を。
- 農業従事者の高齢化や後継者問題に対し、農業ボランティアの活用や根本的な解決策を。
- これまで社会奉仕活動とされたゴミ拾いにスポーツのエッセンスを加え、競技へと変換させた「スポーツゴミ拾い」の支援事業を周知し、特に若い世代の取り組みと拡大を。



「スポーツゴミ拾い」の周知を

- 電動アシスト付きレンタサイクル事業の区民への周知と外国語のリーフレット等を作成し外国人の方に対してもきめ細やかな対応を。
- ユニバーサルデザインタクシー乗り場の整備に向けた調査、研究を。
- スマートフォンの学校内持ち込みについてのガイドライン策定の検討とネットリテラシー教育について、各関係者と連携を図りながら、更なる推進を。

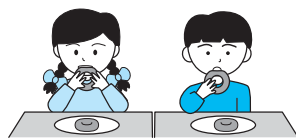
- ブラック校則の実態調査と研究を。
- 性教育は、外部講師の出前授業等を活用しながら、正しい知識や情報を伝える機会を。
- 不登校の児童生徒に対し、区独自のガイドライン策定に向けた今後の調査研究の推進と学校・保護者・児童生徒が情報共有・情報提供を行えるよう、一層の連携強化を。

日本共産党(反対)

新年度予算案は区民にとって重要な前進はあるが、区政の基本的な姿勢に問題があり、一般会計予算、各特別会計予算に反対する。

[主な反対理由]

- 国の消費税増税の方針に対し、区は他区にない施設の使用料に2%の増税分を転嫁し値上げする条例案を提案。消費税増税を容認し増税分を区民に転嫁する姿勢。
- 新庁舎建設において、区民への情報公開がほとんど行われず、新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会のメンバーも公募区民はわずか4名に限られている。くつろぎの家廃止方針でも十分区民の声を聞く姿勢がなく、専門職大学についても住民説明は一部の町会代表に限定される等、住民への情報公開と住民参加を進める姿勢が不足しているため。
- スーパー堤防とまちづくり事業について、完成までに何年かかるか見通しがつかず、上篠崎の今後の地盤対策の方針も住民の求める対策と隔たりがある。また、先行買収が多く、たくさんの住民が転出してしまった。このような事業を進める区の姿勢。
- 区費による専科教員や図書館司書などを配置せず、予算を増やさない教育行政。すすすくスクール学童登録児童の補食復活や保育時間の延長を全く考えていない姿勢。



すすすくスクールの補食について

- 国民健康保険料について、保険料引き下げの声に応える姿勢がみられないこと。
- 介護保険料について、高齢者の負担が増え、利用料の3割負担も始まったこと。
- 後期高齢者医療制度の軽減特例の廃止など、高齢者の暮らしを圧迫する姿勢。

江戸川クラブ(賛成)

明日を担う未来の人づくりへの投資を軸とした平成31年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- 児童相談所開設・運営には継続的な都の補助が必要であるため、財政調整交付金に算定させること。また、特別区間の連携を図ること。
- 南葛西地区の土壌汚染問題の対策を。
- 喫煙と健康は密接な関係があることを踏まえ、



喫煙ルールの強化を

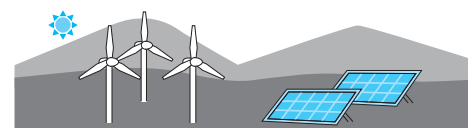
- 受動喫煙対策、歩行喫煙、吸殻ポイ捨て等に対し、美化促進、治安向上に寄与する、国際都市としての喫煙ルールの強化を。
- 中等度難聴力児の補聴器購入制度について、支給に不公平が生じないように制度上の整備を。
- 地域包括ケアの拠点となる「なごみの家」の地域の方々の介護負担軽減に繋がる展開を。
- 適正な住宅供給の指針となる住宅条例に対し、規制内容が目的の趣旨に沿っているのかという事業者からの声に検証を。
- 広域水害対策であるスーパー堤防事業の安全で安心なまちづくりへの寄与を。
- 学校改築と適正配置は密接な関係にあり、今後、事業を進めていくにあたり、これまでの教訓を十分に活かすこと。
- 学校体育館の空調設置は全都的な事業であることから、遅滞なく整備を進めるとともに、特定の事業者に偏在することがないように入札と情報開示を。また、工事が学校の教育活動の支障にならないよう慎重、迅速な整備を。

生活者ネットワーク(賛成)

人へのサービスを拡充した施策を鑑み、平成31年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- ハローベビー教室は必要な人が参加できるように。全家庭に専門家による新生児訪問を。
- 居住支援協議会を拡充し、高齢者や児童養護施設退所者など多様な人々への対応を。
- 区内で生活する外国人の方々に、やさしい日本語を使用した、わかりやすい情報発信を。
- 小中学校全校で、実態に即した性教育を。
- 区画整理と切り離し堤防は堤防として強化を。
- 学校体育館の冷暖房設置には、再生可能エネルギーによる電気を。また、改築する学校においては、エネルギー効率を考えた建設を。



体育館の冷暖房設備に再生可能エネルギーによる電気を

無所属(賛成)

平成31年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- 議員自ら、政務活動費の一割カットを。
- 今日と明日、同じ生活ができる防災対策を。
- 地球環境の変化がある中で、葛西の海を守るためにも、ラムサール条約湿地に登録された葛西海浜公園内に研究や学習をする施設を。
- 児童相談所の理念に「正しく強き心」の投入を。
- 震災や水害への備えを怠らず「備えてこそ無事」を合言葉として子どもたちを守る観点から備えてほしい。

区議会だより編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎福本 みつひろ ○竹内 すずむ
- えぞえ 亮一 ○笹本 ひさし
- 小俣 のり子

